

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公開番号】特開 2001-120717 (P2001-120717A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 8 日 (2001.5.8)
 【出願番号】特願 平 11-309113
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 2 月 22 日 (2006.2.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示状態が変化可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置を有し、前記複数の可変表示部のすべての表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、前記複数の可変表示部の表示結果が所定の表示態様となった場合に所定の入賞が発生するスロットマシンであって、

前記スロットマシンの遊技状態を制御する遊技制御手段と、

所定の条件が成立したことに基づいて、特定の入賞を含む前記所定の入賞を発生させることが可能であるか否かを事前に決定する事前決定手段とを含み、

前記遊技制御手段は、前記特定の入賞が発生したときには、予め定めた J A C I N 入賞の発生によって遊技者に有利なボーナスゲームの実行が可能となるビッグボーナスゲームに前記スロットマシンを制御可能であり、

前記スロットマシンはさらに、

ゲーム時間を計測するゲーム時間計測手段と、

該ゲーム時間計測手段によって計測された所定ゲーム数ごとの時間が、予め定められた最低経過時間に達していない場合に能動化される、前記遊技制御手段による遊技の進行を遅延させる遅延手段と、

該遅延手段が能動化されている場合に通常態様と特別態様とを含む 2 以上の態様のうちのいずれかでその旨を報知する遅延状態報知手段と、

前記 J A C I N 入賞を発生させることが可能なゲームであることを報知する J A C I N 報知手段とを含み、

前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているとき、および前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときの各々について、前記遅延状態報知手段が前記通常態様を選択する確率および前記特別態様を選択する確率が定められており、前記遅延状態報知手段は、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているときには、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときよりも高い確率で前記特別態様を選択することを特徴とする、スロットマシン。

【請求項 2】 前記遅延状態報知手段は、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているときには、前記通常態様よりも前記特別態様をより高い確率で選択することを特徴とする、請求項 1 に記載のスロットマシン。

【請求項 3】 前記遅延状態報知手段は、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときには、前記特別態様よりも前記通常態様をより高い確率で選択することを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 に記載のスロットマシン。

【請求項 4】 前記遅延状態報知手段は、前記遅延手段が能動化されている場合にその旨を音により報知するための音報知手段を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれかに記載のスロットマシン。

【請求項 5】 前記遅延状態報知手段は、前記遅延手段が能動化されている場合にその旨を光により報知するための光報知手段を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれかに記載のスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 に記載の本発明は、表示状態が変化可能な複数の可変表示部を有する可変表示装置を有し、前記複数の可変表示部のすべての表示結果が導出表示されることにより 1 ゲームが終了し、前記複数の可変表示部の表示結果が所定の表示態様となった場合に所定の入賞が発生するスロットマシンであって、

前記スロットマシンの遊技状態を制御する遊技制御手段と、

所定の条件が成立したことに基づいて、特定の入賞を含む前記所定の入賞を発生させることが可能であるか否かを事前に決定する事前決定手段とを含み、

前記遊技制御手段は、前記特定の入賞が発生したときには、予め定めた J A C I N 入賞の発生によって遊技者に有利なボーナスゲームの実行が可能となるビッグボーナスゲームに前記スロットマシンを制御可能であり、

前記スロットマシンはさらに、

ゲーム時間を計測するゲーム時間計測手段と、

該ゲーム時間計測手段によって計測された所定ゲーム数ごとの時間が、予め定められた最低経過時間に達していない場合に能動化される、前記遊技制御手段による遊技の進行を遅延させる遅延手段と、

該遅延手段が能動化されている場合に通常態様と特別態様とを含む 2 以上の態様のうちのいずれかでその旨を報知する遅延状態報知手段と、

前記 J A C I N 入賞を発生させることが可能なゲームであることを報知する J A C I N 報知手段とを含み、

前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているとき、および前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときの各々について、前記遅延状態報知手段が前記通常態様を選択する確率および前記特別態様を選択する確率が定められており、前記遅延状態報知手段は、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているときには、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときよりも高い確率で前記特別態様を選択することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

請求項 2 に記載の本発明は、請求項 1 に記載の発明の構成に加えて、前記遅延状態報知手段は、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているときには、前記通常態様よりも前記特別態様をより高い確率で選択することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 3 に記載の本発明は、請求項 1 または請求項 2 に記載の発明の構成に加えて、前記遅延状態報知手段は、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときには、前記特別態様よりも前記通常態様をより高い確率で選択することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 4 に記載の本発明は、請求項 1 ～ 請求項 3 のいずれかに記載の発明の構成に加えて、前記遅延状態報知手段は、前記遅延手段が能動化されている場合にその旨を音により報知するための音報知手段を含むことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項 5 に記載の本発明は、請求項 1 ～ 請求項 4 のいずれかに記載の発明の構成に加えて、前記遅延状態報知手段は、前記遅延手段が能動化されている場合にその旨を光により報知するための光報知手段を含むことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

【作用】

請求項 1 に記載の本発明によれば、事前決定手段により、特定の入賞を含む所定の入賞を発生させることが可能か否かが事前に決定される。前記特定の入賞が発生したときには、遊技制御手段の働きにより、予め定めた J A C I N 入賞の発生によって遊技者に有利なボーナスゲームの実行が可能となるビッグボーナスゲームに前記スロットマシンが制御される。ゲーム時間計測手段によって計測された所定ゲームごとのゲーム時間が、最低経過時間に達していない場合には、遅延手段が能動化されて遊技制御手段による遊技の進行が遅延される。そして、遅延手段が能動化されているときには、遅延状態報知手段がその旨を報知するが、遅延状態報知手段は、通常態様と、特別態様とを含む 2 以上の態様のうちのいずれかで報知することが可能である。前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているとき、および前記特定の入賞を発生させないことが決定され

ているときの各々について、前記遅延状態報知手段が前記通常態様を選択する確率および前記特別態様を選択する確率が定められている。前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているときには、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときよりも高い確率で前記特別態様が前記遅延状態報知手段によって選択される。さらに、J A C I N報知手段の働きにより、前記J A C I N入賞を発生させることが可能なゲームであることが報知される。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項2に記載の本発明によれば、請求項1に記載の発明の作用に加えて、前記遅延状態報知手段の働きにより、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているときには、前記通常態様よりも前記特別態様がより高い確率で選択される。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項3に記載の本発明によれば、請求項1または請求項2に記載の発明の作用に加えて、前記遅延状態報知手段の働きにより、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときには、前記特別態様よりも前記通常態様がより高い確率で選択される。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項4に記載の本発明によれば、請求項1～請求項3のいずれかに記載の発明の作用に加えて、前記遅延状態報知手段に含まれる音報知手段の働きにより、前記遅延手段が能動化されている場合にその旨が音により報知される。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項5に記載の本発明によれば、請求項1～請求項4のいずれかに記載の発明の作用に加えて、前記遅延状態報知手段に含まれる光報知手段の働きにより、前記遅延手段が能動化されている場合にその旨が光により報知される。

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 2 5 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 5 8 】

ビッグボーナスゲームにより、予め定めた J A C I N 入賞の発生によって遊技者に有利なボーナスゲームの実行が可能となるビッグボーナスゲームが構成されている。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 5 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 5 9 】

図 2 5 の S E 1 2 および S E 1 3、ならびに S E 1 4 および S E 1 5 により、前記遊技制御手段は、前記特定の入賞が発生したときには、予め定めた J A C I N 入賞の発生によって遊技者に有利なボーナスゲームの実行が可能となるビッグボーナスゲームに前記ロットマシンを制御可能であることが開示されている。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 6 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 6 1 】

図 1 のウェイトランプ 1 5、図 3 のウェイトランプ 2 3 5 ならびにスピーカ 3 6、2 4 0 および 2 4 1、さらには図 1 6 の S B 2 2 e および S B 2 2 f により、該遅延手段が能動化されている場合に通常態様と特別態様とを含む 2 以上の態様のうちのいずれかでその旨を報知する遅延状態報知手段が構成されている。図 1 4 の S B 1 4 により、前記 J A C I N 入賞を発生させることが可能なゲームであることを報知する J A C I N 報知手段が構成されている。

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 6 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 6 2 】

図 1 6 の S B 2 2 c ~ S B 2 2 f により、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているとき、および前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときの各々について、前記遅延状態報知手段が前記通常態様を選択する確率および前記特別態様を選択する確率が定められており、前記遅延状態報知手段は、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているときには、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときよりも高い確率で前記特別態様を選択することが開示されている。

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 2 6 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 2 6 3 】

図 1 6 において、S B 2 2 c でウェイト予告音カウンタが 0 ~ 3 9 のときに S B 2 2 e の処理が行なわれ、予告音カウンタがそれ以外 (4 0 ~ 5 9) のときには S B 2 2 e ではなく S B 2 2 c の処理が行なわれることにより、前記遅延状態報知手段は、前記事前決定

手段により前記特定の入賞を発生させることが決定されているときには、前記通常態様よりも前記特別態様をより高い確率で選択することが開示されている。

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0264

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0264】

図16において、SB22dでウェイト予告音カウンタが0のときにのみSB22eの処理が行なわれ、予告音カウンタがそれ以外(1~59)のときにはSB22eではなくSB22cの処理が行なわれることにより、前記遅延状態報知手段は、前記事前決定手段により前記特定の入賞を発生させないことが決定されているときには、前記特別態様よりも前記通常態様をより高い確率で選択することが開示されている。

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0265

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0265】

図3のスピーカ36、240および241、ならびに図16のSB22eおよびSB22fにより、前記遅延状態報知手段は、前記遅延手段が能動化されている場合にその旨を音により報知するための音報知手段を含むことが開示されている。

【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0266

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0266】

図1のウェイトランプ15、図3のウェイトランプ235および図16のSB22eおよびSB22fにより、前記遅延状態報知手段は、前記遅延手段が能動化されている場合にその旨を光により報知するための光報知手段を含むことが開示されている。

【手続補正 22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0267

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0267】

【課題を解決するための手段の具体例の効果】

請求項1に記載の本発明によれば、遊技者は、報知手段の報知によって遅延手段が能動化されていることを知ることができると同時に、特定の入賞を発生させることが事前に決定されているか否かについてある程度予想することが可能となり、遊技の興趣を向上させることができる。またゲームの進行状況が遅延手段の能動化が行なわれないような状況であるときにはこうした報知は行なわれない。したがって、ゲームの進行状況に応じて遊技者に示される情報が異なってくるので、遊技に幅が出るという効果を奏する。さらに、特定の入賞を発生させることが決定されているとき、および特定の入賞を発生させないことが決定されているときの各々について、遅延状態報知手段が通常態様を選択する確率および特別態様を選択する確率が定められているため、特別態様で報知された場合でも必ず特定の入賞を発生させることが事前決定されているとは判断できず、遊技者が持つ、特定の入賞とすることが決定されているか否かに対する期待感をさらに大きくすることができる。その結果遊技の興趣をさらに向上させることができるという効果を奏する。また、さら

に、特定の入賞を発生させることが決定されているときには、特定の入賞を発生させないことが決定されているときよりも高い確率で前記特別態様が選択されるため、特別態様で報知された場合には、特定の入賞が発生することについて遊技者に大きな期待感を抱かせることができる。

【手続補正 23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0268

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0269

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0269】

請求項2に記載の本発明によれば、請求項1に記載の発明の効果に加えて、特別態様で報知された場合には、特定の入賞が発生することについて遊技者に大きな期待感を抱かせることができ、遅延手段が能動化されたときの遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0270

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0270】

請求項3に記載の本発明によれば、請求項1または請求項2に記載の発明の効果に加えて、特別態様で報知があつたにもかかわらず特定の入賞を発生させることが決定されていない、という場合が少なくなり、予告の信頼性を維持することができ、遅延手段が能動化されたときの遊技者の期待感を増大させることができる。

【手続補正 26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0271

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0271】

請求項4に記載の本発明によれば、請求項1～請求項3のいずれかに記載の発明の効果に加えて、遊技者にとっては遅延手段が能動化されていることが容易に分かるという効果を奏する。

【手続補正 27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0272

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0272】

請求項5に記載の本発明によれば、請求項1～請求項4のいずれかに記載の発明の効果に加えて、スロットマシンを注視している遊技者にとっては、遅延手段が能動化されていることが容易に分かるという効果を奏する。